

# 龍ヶ崎市(りゅうがさきし)

 ロゴマーク <住所>301-8611 龍ヶ崎市 3710 <Tel> 0297-64-1111 <Fax> 0297-60-1583 <HP>http://www.net-ibaraki.ne.jp/ryugasaki/ <e-mail>ryugasaki@po.net-ibaraki.ne.jp	地域指定	一部事務組合加入事業	公営企業
	近郊整備	消防救急 ごみ処理 し尿処理	上水道
類型 II-3    コード番号 082082    面積 78.19k m <sup>2</sup>			

## <行政組織>

### ①議会(H14.3.1 現在)

議長	瀬尾 勇	副議長	曾根 一吉
任期	H15.4.30	定数	26名
		現議員数	25名
党派別	公明3 共産2 無20		

### ②三役(H14.3.1 現在)

長	串田 武久	任期	H14.1.18~H18.1.17
助役	海東 宗平	収入役	山崎 孝夫

### ③職員数 (人)

職員数	H11年度	H12年度	H13年度	
		575	576	574
職員構成 (H13.4.1)	普通会計	525	一般行政職	369
	うち施設関係	160	技能労務職	97
	職員一人 当たり住民数	133.4	企業職	0
			消防職	0
	公営事業会計	49	教育職	4
	合計	574	その他	104

### ④機構図(H14.4.1 現在)

<市長>—<助役>—

総務部—総務課,秘書広聴課,人事課,交通防災課,行政管理局

企画財務部—企画調整課,財政課,税務課,収納課

市民福祉部—市民課,保険年金課,健康増進課,社会福祉課,介護福祉課

環境経済部—環境衛生課,商工観光課,農政課

建設部—契約検査課,建設課,下水道課,道路維持課

都市整備部—都市計画課,街路課,みどり推進課,建築課

<収入役>—出納室

<教育長>—

教育次長—学務課,生涯学習課,スポーツ振興課,指導室(学校給食センター),(図書館),(公民館),(文化会館),(歴史民俗資料館),(武道館),(教育センター)

<議会>  
議会事務局

<行政委員会>  
選挙管理委員会,監査委員事務局,公平委員会,農業委員会事務局,固定資産評価審査委員会

## <概要>

### ①沿革

昭和29年3月20日	市制施行
昭和30年2月21日	編入 高須村の一部

### ②地勢・風土等

首都 50km 圏内に位置する「水と緑」の豊かな自然環境に恵まれた茨城県南部地域の中核都市。  
 北部台地の龍ヶ崎ニュータウン内には,長年の市民の念願であった総合病院「龍ヶ崎済生会病院」が平成13年12月に一部開院し,平成14年4月には全面的に開院する。さらに,同年6月には総合体育館・屋内温水プールが開設の予定であり,21世紀の新しい都市にふさわしい機能を備えたまちへと変貌している。

### ③人口・世帯数

人口(人)	性別	国勢調査			常住人口 (H14.3.1)
		H2	H7	H12	
男	男	28,984	35,154	38,896	39,279
	女	28,254	34,009	38,027	
合計		57,238	69,163	76,923	77,983
世帯数		17,121	22,244	26,186	26,863

### ④有権者数(H13.12.2 現在) ⑤高齢人口割合(H12 国勢調査)

有権者数(人)	男	女	計	高齢人口割合
	29,412	29,670	59,082	12.6%

## <産業・経済>

### ①生産・所得(平成10年度)

市町村内総生産	1,876億円	就業者1人当たり	6,945千円
住民所得	2,294億円	人口1人当たり	3,059千円

### ②産業構造 (百万円・人)

区分	総生産額(H10年度)		就業人口(H12国調)	
第1次	2,515	1.3%	1,359	3.74%
第2次	81,997	43.7%	10,971	30.19%
第3次	107,663	57.4%	23,336	64.21%
総額・総数	187,617	—	36,345	—

### ③農業・工業・商業 (人・百万円)

農業(H12.2.1)	農家数	農業就業人口	農業粗生産額(H11.1.1~H11.12.31)
	1,550	2,101	438(千万円)
製造業(H11.12.31)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等(H11.1.1~H11.12.31)
	118	5,295	157,499
卸・小売業(H11.7.1)	商店数	従業者数	年間販売額(H10.4.1~H11.3.31)
	741	5,657	103,859

### ④特産物

龍ヶ崎トマト, コシヒカリ, 落花生
--------------------

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

年度	H11 決算	H12 決算	増減率
歳入	26,641,995	23,836,585	-10.5
歳出	25,617,604	22,744,612	-11.2
形式収支	1,024,391	1,091,973	—
実質収支	820,328	810,622	—
単年度収支	215,784	-9,706	—
実質単年度収支	250,001	5,518	—
積立金現在高	8,438,511	8,361,286	-0.9
地方債現在高	26,508,029	27,263,949	2.9

②財源及び支出の状況(構成比)

(%)

区分	H11 決算	H12 決算
一般財源	61.7	69.6
自主財源	50.2	56.1
義務的経費	35.3	40.2
投資的経費	28.8	21.7

③主な歳入・歳出

(百万円・%)

区分	H12 決算	増減率	H13 見込み	増減率	H14 当初予算	増減率
歳入	23,836	-10.5	26,443	10.9	21,984	-11.2
うち地方税	10,618	-1.5	10,608	-0.1	10,613	0.4
うち地方交付税	4,099	-2.0	3,803	-7.2	3,180	-11.4
うち国県支出金	1,848	-46.6	2,503	35.4	1,826	-25.0
うち地方債	2,605	-36.6	3,753	44.1	2,217	-34.0
歳出	22,744	-11.2	25,389	11.6	21,984	-11.2
うち義務的経費						
人件費	4,642	-0.8	4,760	2.5	4,686	-0.8
扶助費	1,707	-18.7	1,856	8.7	2,012	13.9
公債費	2,809	24.4	2,621	-6.7	2,913	10.3
計	9,158	1.4	9,237	0.9	9,611	5.3
うち物件費	3,027	2.5	3,168	4.7	3,259	1.2
うち普通建設事業費						
補助単独	704	-72.6	1,381	96.2	412	-73.2
	4,145	-10.9	5,297	27.8	2,478	-47.0

④主要指標(平成12年度)

区分	指数等	
標準財政規模	14,983 百万円	
歳出決算倍率	1.5 倍	
経常収支比率	85.9 %	
財政力指数(3ヶ年平均)	0.729	
実質収支比率	5.4 %	
公債費比率	14.4 %	
公債費負担比率	15.2 %	
起債制限比率(3ヶ年平均)	9.6 %	
地方債現在高倍率	1.8 倍	
税の徴収率	86.7 %	
積立金現在高	財調・減債	2,661 百万円
	特定目的	5,699 百万円
ラスパイレース指数(H13.4.1)	100.9	

⑤市町村税の状況(平成12年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率	収入額前年比
市町村民税(構成比)	5,129,109 (41.9)	4,557,892 (42.9)	88.9	-2.1
固定資産税(構成比)	5,624,147 (45.9)	4,748,134 (44.7)	84.4	-1.0
その他の税(構成比)	1,496,207 (12.2)	1,312,721 (12.4)	87.7	-1.5
合計	12,249,463	10,618,747	86.7	-1.5

<公共施設整備状況>(平成12年度)

小学校	13校	老人福祉施設	2ヶ所
中学校	6校	病院・診療所	80ヶ所
幼稚園	9園	道路改良率	53.2%
保育所	7ヶ所	道路舗装率	77.4%
図書館	1ヶ所	ごみ焼却処理率	77.2%
公営住宅	167戸	し尿衛生処理率	100.0%
1人当たり公園面積	9.5㎡	上水道等普及率	67.7%
公民館等	13ヶ所	排水等処理率	74.7%
体育館	1ヶ所	施設充足率(公私立幼稚園保育所)	90.4%
プール	1ヶ所		

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
佐貫駅エスカレータ等整備事業	H12～H14	駅東口、西口のエスカレータ、エレベータの整備	374
コミュニティバス運行事業	H13～H14	市民の移動性を高める交通手段を確保するためにコミュニティバスを運行させる	119
子育て支援ネットワーク事業	H14～	アドバイザーの派遣を受け、「子育て交流サロン」等の開催や子どもの居場所づくりなど複合的な支援施策を展開する	3

②今後の主要課題・特色ある行政等

<主要課題>	
・財政健全化施策の推進	
・市民活動支援事業	
・環境基本計画の策定	
<特色ある行政>	
・ボランティア相談員派遣事業(小学校)	
・既存路線バスゾーン運賃制(昼間割引)導入事業	
・男女共同参画条例の制定	

